

\\ 知ってる? \\

# 須磨の歴史

白砂青松で有名な須磨浦。夏は涼しく冬は温暖な気候。

そして古来、都人も憧れた歴史文化に恵まれた地。

近代では住宅地や保養地に最適な土地柄としても知られる須磨の歴史をご紹介します。

## 1868 ● 村から町へ

- 1886 ● 須磨10か村(妙法寺・多井畑・車・白川・東須磨・西須磨・大手・板宿・西代・池田)が八部郡板宿村外九カ村戸長役場の統轄下に入る
- 1889 ● 八部郡須磨村と改称
- 1896 ● 八部郡、菟原郡、武庫郡が合併して兵庫県武庫郡となる
- 1912 ● 町制施行により須磨町となる

## 1912 ● 須磨町、神戸市に編入

- 1920 ● 兵庫県武庫郡須磨町が神戸市に編入
- 1935 ● 須磨浦公園開園
- 1937 ● 市電須磨線全線開通、市電板宿線開通
- 1938 ● 阪神大水害おこる
- 1945 ● 西神戸大空襲によりまちが焼失

## 1945 ● 須磨のまち開発が動き出す

- 1948 ● 須磨海浜公園付設海水浴場開設
- 1957 ● 須磨水族館開館・須磨浦ロープウェイ架設
- 1963 ● 高倉山で須磨ベルトコンベアーの工事始まる
- 1967 ● 須磨離宮公園開園

## 1970 ● よりよい町へ、どんどん進化

- 1978 ● 須磨ヨットハーバー開設
- 1984 ● 神戸総合運動公園陸上競技場(ユニバー記念競技場)完成
- 1985 ● グリーンエキスポ85開幕(神戸総合運動公園)
- 1987 ● 須磨海浜水族園開園
- 1988 ● 神戸総合運動公園野球場(グリーンスタジアム神戸)完成

## 1989 ● 自然を守り、育てる街へ

- 1993 ● 神戸総合運動公園体育館(グリーンアリーナ神戸)完成
- 1995 ● 阪神・淡路大震災発生(1月17日)
- 2006 ● 須磨区の木を「松」に決定
- 2014 ● 武庫離宮(現・須磨離宮公園)造営100年
- 2020 ● 須磨町神戸市編入100年を迎える須磨海岸整備完了(遠浅化、遊歩道の整備など)

### 須磨町の編入以後の区域の変遷

1 須磨町神戸市編入時(大正9年)  
面積24.80km<sup>2</sup>



2 昭和16年頃 面積56.73km<sup>2</sup>



3 昭和45年頃 面積24.16km<sup>2</sup>



4 令和2年現在 面積28.93km<sup>2</sup>



大正9年の神戸市の編入後、区制の実施、境界の変更等により須磨の区域は変わっています。昭和6年に神戸市に区制が施行され、灘・葺合・神戸・湊東・湊西・林田・須磨の8区がおかれられました。その後、昭和16年に垂水区が神戸市と合併、須磨区に編入されました。しかし、昭和21年に分区し、垂水区が誕生しました。その後、昭和52年に菅の台、竜が台が垂水区から、昭和60年に神戸総合運動公園(緑台)が垂水区から、神戸市流通業務団地の一部が西区から編入され、現在の区域になりました。

©須磨区役所

### 写真で比べる いまとむかし



### 写真で見ると まち開発



©神戸市

©神戸市